

臨床医学教育学

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	2 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	2 人	

2 教員の異動状況

五十嵐 寛（特任准教授）（H11.7.1～17.6.30 麻酔科蘇生科 助手；H17.7.1～23.6.30 講師；H23.7.1～現職）

津守 崇（特任助教）（H25.4.1 採用～H26.3.31）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 25 年度
（1）文部科学省科学研究費	0 件 (0 万円)
（2）厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
（3）他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
（4）財団助成金	0 件 (0 万円)
（5）受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
（6）奨学寄附金その他（民間より）	0 件 (0 万円)

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
（1）特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
（2）シンポジウム発表数	0 件	0 件
（3）学会座長回数	0 件	0 件
（4）学会開催回数	0 件	0 件
（5）学会役員等回数	0 件	2 件
（6）一般演題発表数	0 件	

（1）国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

1. 五十嵐寛、梅村和夫、小楠敏代：医師過疎地域における学習成果基盤型教育でのシミュレーション教育の利点. 第 45 回日本医学教育学会大会 2013.07.26-27 千葉市
2. 五十嵐寛、梅村和夫、小楠敏代、浦野哲盟：浜松医科大学 屋根瓦方式の P B L 教育の実施. 第 45 回日本医学教育学会大会 2013.07.26-27 千葉市
3. 津守崇、市川美智華、五十嵐寛：大学教員としてグローバルスタンダードに準拠したカリキュラム策定に携わって. 第 9 回日本医学シミュレーション学会学術集会 2014.2.15-16 下都賀郡壬生町
4. 市川美智華、五十嵐寛、津守崇：専従 ME の立場から見た浜松医科大学医学部附属病院シ

ミュレーションセンターの今後の課題、第9回日本医学シミュレーション学会学術集会
2014.2.15-16 下都賀郡壬生町

ポスター発表

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

1、五十嵐寛：JAMS セミナー改善のポイントに関する私見、第9回日本医学シミュレーション
学会学術集会 2014.2.15-16 下都賀郡壬生町

3) シンポジウム発表

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 日本医学シミュレーション学会 理事（広報担当）
2. 日本ペインクリニック学会 評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 25 年度
産学共同研究	1 件

1. バクスター(株)・全身吸入麻酔剤 デスフルランのシミュレーションプログラム・2,970,000 円

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

14 研究の独創性、国際性、継続性、応用性

15 新聞、雑誌等による報道

1. 「高校生対象「育成セミナー」」静岡新聞 平成 25 年 8 月 7 日
2. 「高校生が治療模擬体験」中日新聞 平成 25 年 8 月 7 日
3. 「児童ら心臓検査や聴診」平成 25 年 8 月 19 日
4. 「親子 15 組医師体験」静岡新聞 平成 25 年 8 月 20 日